

◆ 平成27年度 活動報告シート ◆

団体名：荒川太郎衛門地区自然再生協議会イベント実行委員会

代表者：実行委員長 川島秀男・副委員長 竹内千尋

URL：

1. 活動が必要とされた状況

当協議会は荒川太郎衛門地区の自然再生を目的に2002年に結成後、初めての試みとして2012年に周辺の小学生を対象に外来種の駆除や昆虫のイベントを実施した。今年度は、周辺に住む子供からお年寄りまで、また自然再生に興味のある方々に来て知ってもらいたいという狙いで、皆さんが楽しめるイベントを行った。また今回来てくれた人が、荒川太郎衛門地区を知りボランティア活動などに参加したいと思ってもらい、さらに今後首都圏の市民の集いの場所や、周辺のエコツーリズムの先駆けとなれば幸いである。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施日時：平成27年10月24日（土）9：00～12：00

実施場所：荒川太郎衛門地区 下池周辺

参加人数：約150名

参加内容：『遊ぼう！学ぼう！たろうえもん ～自然再生の活動に参加しよう～』をコンセプトに、A～Dの4班に分けて、【バッタ取り、植物の標本づくり、篠竹を使ったパン焼き、篠デッポウづくり】コーナーを廻ってもらった。



3. 活動の成果

晩秋秋晴の下、荒川太郎衛門地区自然再生協議会27年度のイベントが無事行われた。荒川流域の子供たちや親御さんを巻き込んでイベントができた事は大きな成果である。「こんな場所があったのね、また来ます」という声も聞こえた。子供たちも普段触れ合えない自然の中で体を動かしイキイキしていた。カヤネズミの巣を見たり、大空にノスリやトビがゆったりと舞っているところを観察できた。また、地元川島町生産者の協力による、新鮮なキュウリやイチジク、新米を販売は好評であった。



4. 今後に残された課題

- ・今回はより多くの“知ってもらおう”に重きを置いたので、そのあとの活動などのサポートする必要がある。
- ・イベント開催場所によっては来客の安全の確保が必要である。
- ・下池は交通の便があまりよくないため、来客の送迎等考慮する必要がある。